高等学校 令和7年度（１学年用）　　教科　国語　　科目 現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　小宮山・柿原・奥山

使用教科書：　（ 第一学習社　「高等学校　標準　現代の国語」　）

使用教材：　（ 第一学習社「カラー版　新国語便覧」／数研出版「国語常識ベーシック」　）

科目の目標

【 知　識　及　び　技　能 】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①確認テスト ②小テスト ③暗唱テスト	①確認テスト ②提出物の内容 ③書く・話す活動	①学習に取り組む状況 ②振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日） 1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	配当時間	評価
通年			暗唱テスト	○			小テスト								20	
1学期	4	・国語の授業の決まりを理解し、望ましい授業態度を理解することができる。 ・図書室利用による情報収集の方法や資料の活用法について理解し、実践できる。	・授業ガイダンス ・図書室利用ガイダンス			○	ワークシートの記述								2	
	5	・筆者の考えについて、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。	・「なぜ本を読むのか」（エッセイ）	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述								10	
	6	・文章の論理や構成を的確に捉え、筆者の主張を本文から読み取ることができる。 ・自分の意見や感想を発表したり、周りの意見を聞いたりできる。	・「水の東西」（評論）	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述								8	
	7	・自分の意見を聞き手に分かりやすく伝える方法を理解し、実践できる。 ・与えられた題材に即して、自分が体験したことや考えたこと、身の回りのことなどから、対象や目的に応じた材料を集めることができる。	・スピーチ		○	○	観察 振り返りシートの記述								6	
2学期	9	・筆者の主張、根拠の論理構造に留意しながら、筆者の見解を読み取ることができる。	・【夏季休業課題】読書感想文 ・「イースター島になぜ森がないのか」（評論）	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述								10	
	10	・文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容を解釈できる。	・「言語としてのピクトグラム」	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述								6	
	11	・文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報の関係を理解する。	・「ステレオタイプの落とし穴」	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述								6	
	12	・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫できる。 ・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方を理解できる。	・意見文		○	○	観察 振り返りシートの記述								4	
3学期	1 2	・文章の内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報の関係を理解する。	・「人はなぜ仕事をするのか」	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述								8	
	3	・ディベートの形式・方法について理解し、実践できる。 ・テーマについて検討し、自身の立場と主張の根拠を検討する。 ・反対意見を想定しつつ、根拠を提示しながら意見を述べることができる。	・論理的な表現 ・ディベート		○	○	観察 振り返りシートの記述								6	

高等学校 令和7年度（１学年用）　教科　国語　科目 言語文化

教　科：　国語　科　目：　言語文化　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　小宮山・柿原・奥山・東條

使用教科書：　（ 第一学習社　「高等学校　標準　言語文化」　）

使用教材：　（ 第一学習社「カラー版　新国語便覧」　）

科目の目標

【 知　識　及　び　技　能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①確認テスト ②小テスト	①確認テスト ②提出物の内容 ③書く・話す活動	①学習に取り組む状況 ②振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日） 1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	配当時間	評価
1学期	4	・本校校歌に親しみ、本文の意味を理解・解釈し、暗唱できる。	・歴史的仮名遣い ・いろはうた（小テスト）	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									
	5															
	6	・歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを学び、正しく音読できる。	・絵仏師良秀	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									
	7															
2学期	9	・重要な古語の意味を理解し、話の流れを理解する。 ・古典作品における滑稽さを読み取り、現代に通ずる普遍的面白さを理解することが出来る。 ・自分の意見や感想を発表したり、周りの意見を聞いたりすることができる。	・「三文にて歯二つ」	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									
	10	・重要な古語の意味を理解し、話の流れを理解する。 ・古典作品における滑稽さを読み取り、現代に通ずる普遍的面白さを理解することが出来る。 ・自分の意見や感想を発表したり、周りの意見を聞いたりすることができる。	・「児のそら寝」	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									
	11															
	12	・短歌俳句が現代の形になるまでの歴史を学び、それに関わってきた人物について学ぶ。 ・短歌と俳句を味わい、俳句大賞への参加に向けて様々な技法について学ぶ。	・短歌・俳句	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									
3学期	1	・漢文の基本的な読み方を理解できる。 ・漢文学習で教え合いや学び合いをすることができる。	・漢文訓読法 ・【冬季休業課題】 「お一いお茶新俳句大賞」へ応募	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									
	2	・学んだ訓読法を用いて、「矛盾」を書き下し文にすることができる。 ・故事成語について学び、その成り立ちと意味について理解できる。	・「矛盾」（漢文）	○	○	○	観察 確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									
	3	・我が国の伝統と文化に対する理解を深め、古典に親しむことができる。	・百人一首 ・かるた		○	○	観察 振り返りシートの記述									

高等学校 令和７年度（２学年用）　教科　国語　科目 言語文化

教　科：　国語　科　目：　言語文化　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　伊藤正・上島・奥山

使用教科書：　（ 第一学習社　「高等学校　標準　言語文化」　）

使用教材：　（ 第一学習社「カラー版　新国語便覧」　）

科目の目標

【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①確認テスト ②暗唱テスト	①確認テスト ②提出物の内容 ③小テスト	①学習に取り組む状況 ②振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）							配当時間	評価
通年		・我が国の伝統と文化に対する理解を深め、古典に親しむことができる。 ・近現代の小説を味わうことができる。	名文の暗唱、確認テスト	○	○		小テスト 確認テスト									
1学期	4・5・6	・漢文の基本的な読み方を理解できる。 ・漢文学習で教え合いや学び合いをすることができる。	・ガイダンス ・漢文訓読法	○	○	○	観察 小テスト・確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述　確認テスト									
2学期	9・10	・学んだ訓読法を用いて、「五十歩百歩」、「蛇足」を書き下し文にすることができる。 ・故事成語について学び、その成り立ちと意味について理解できる。	・五十歩百歩 ・蛇足	○	○	○	観察 小テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述 確認テスト									
	11・12	・漢詩の表現や技法を味わうことができる。 ・学んだ技法を活かして漢詩を鑑賞することができる。	・押韻 ・春暁	○	○	○	観察 ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述 確認テスト									
3学期	1・2・3	・学んだ訓読法、表現や技法を用いて「論語」を書き下し文にすることができる。 ・「論語」について知り、孔子のものの見方や考え方を理解することができる。	・論語	○	○	○	観察 小テスト・確認テスト ノート・プリントの記述 振り返りシートの記述									

高等学校 令和７年度（二学年用）　　教科　国語　　科目 国語表現

教　科：　国語　　科　目：　国語表現　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　（1組：伊藤正）　（2組：伊藤正）　（3組：奥山）　（4組：東條）　（5組：東條）　（6組：奥山）　（7組：伊藤正）

使用教科書：　（ 東京書籍「国語表現」 ）

使用教材：　（ 数研出版「国語常識ベーシック」 ）

科目の目標

【 知 識 及 び 技 能 】　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けられている。	目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうといている。

評価方法と割合：

【知識・技能】全体の３分の１	【思考・判断・表現】全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】全体の３分の１
①確認テスト ②小テスト（「国語常識ベーシック」）	①確認テスト ②提出物の内容	①振り返りの内容 ②学習に取り組む状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）							配当時間	評価
								組	組	組	組	組	組	組		
通年		・高い頻度で使用される常用漢字を読み、書くことができる。	漢字テスト（日本漢字能力検定３～４級レベル。副教材に沿うこと。）	○			ワークシートの記述									
1学期	4・5	・相手に伝わりやすい文章の書き方、接続の言葉を学ぶ。	p28~33 情報を伝える順番を整理し、相手に誤解されないような接続詞の使用法を学び、文章を書く。	○		○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
	6	・自分の身の回りのことを言葉にして伝える。 ・場面に応じた文章のかき分けを学ぶ	p. 18~27 ・絵や写真を題材に、見ていない人に伝わるように説明する。 （参考）「一枚の絵を言葉で書いてみる」金田一秀穂　・早口言葉、寿限無、外郎売りに取り組む。 ・様々なテーマで短いスピーチをする。	○		○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入 発表 確認テスト									
	7	・インターンシップの経験を踏まえ、自分の身の回りのことを文章で正確に伝える。 ・場面に応じた文章のかき分けを学ぶ	p. 66~81、p. 50~59 ・自分の長所、短所を分析し、自己ＰＲと自分の将来を短い文章でまとめる。 ・電子メール、はがき、便箋等それぞれの違いを知る。 ・手紙の基本的な形式を学ぶ。	○		○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
2学期	9・10	・書評をしてみる。 ・発表について学ぶ。	p128~139 ・自分が選んだ本の紹介をする。　・効果的なプレゼンテーションの方法を学び、発表する。		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入 発表 確認テスト									
	11・12	・スピーチ原稿を作成し、身振り手振り、話し方を工夫して相手に伝える。	p166~167、p. 168~187 ・テーマを一つ決め、相手や場所などの条件を考慮しながら、プレゼンテーション資料の作成・台本の作成をする。 参考p166~167「プレゼンテーションの仕方」河野哲也		○	○	ワークシートの記述 発表 確認テスト									
3学期	1	・接続表現や敬語を正しく使い、伝えたい相手に合わせた文章を書く。	p. 140~153、p. 82~109 文章を書く相手を想定し、適切な文章表現を使用する。	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入 発表									
	2・3	・自分を的確に他者にアピールする力を身に付ける。	p. 136~137、p. 66~81 ①自己分析のための問いを作成し、自分のことを客観的に知る。 ②長所と短所を知り、言い換える活動を行う。 ③自分の進路について調べ学習をする。 ①～③を踏まえ、自己PRを行う。	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入 発表 確認テスト									

高等学校 令和７年度（二学年用）　教科　国語　科目 小論文Ａ

教　科：　国語　　科　目：　小論文Ａ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　柿原・上島

使用教科書：　（　　）

使用教材：　（「楽しく書ける作文・小論文　入門編　四〇〇字で書こう」（桐原書店）　　）

科目の目標

【 知 識 及 び 技 能 】「原稿用紙の使い方」や「書き言葉」などの基本を身に付け、文章を書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】 自分の立場や論拠を明確に示して小論文を書くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな文章を読み意見を的確にとらえ、自分の考えを深めることができる。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
「原稿用紙の使い方」や「書き言葉」などの基本を身に付け、文章を書くことができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の立場や論拠を明確に示して小論文を書くことができる。	現代社会を取り巻く諸問題に関する文章を読み、筆者の意見を的確にとらえ、自分の考えを深めたり、視野を広げようとしている。また自分の考えを持ち、それを文章にして伝えようとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①小論文 ②提出物の内容	①小論文 ②提出物の内容 ③書く・話す活動	①学習に取り組む状況 ②振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）							配当時間	評価
								組	組	組	組	組	組	組		
1学期	4	・原稿用紙の使い方を理解する。 ・書き言葉と話し言葉の違いを区別し、文章を書く際に活用できるようになる。	・原稿用紙の使い方を身に付ける。 ・書き言葉を身に付ける。	○			ワークシートの記述 小テスト									
	5	・段落構成に注意しながら、文章を書くことができる。 ・結論、理由、具体例、意見を書き分けられるようにする。	・感想文など平易な文章を書く。	○	○		ワークシートの記述 提出物									
	6	・小論文の型を踏まえて、文章を書くことができる。 ・頭括型による文章作成の基本的能力を身に付ける。	・頭括型の文章を書く		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
	7	・自分の立場や論拠を明確に示して、文章を書くことができる。 ・自分と反対の立場にも考慮し、説得力のある文章を書くことができる。	・生徒にとって身近なテーマを題材に小論文を書く。		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
2学期	9	・自分の立場や論拠を明確に示して、文章を書くことができる。 ・自分と反対の立場にも考慮し、説得力のある文章を書くことができる。	・生徒にとって身近なテーマを題材に小論文を書く。		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
	10	・新聞、雑誌、インターネットから、立場の異なる意見を比較して読み取ることができる。 ・テーマについて討論（ディベート）を行うことが出来る。	・新聞、雑誌、インターネットから情報を収集する方法を学ぶ。	○	○		ワークシートの記述									
	11	・自分の立場や論拠を明確に示して、文章を書くことができる。 ・自分と反対の立場にも考慮し、説得力のある文章を書くことができる。 ・テーマについて討論（ディベート）を行うことが出来る。	・社会的なテーマを題材に小論文を書く。	○	○		ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
	12	・社会的なテーマに興味、関心を抱き、論点を理解して自分の意見を文章で書くことができる。 ・テーマについて討論（ディベート）を行うことが出来る。	・社会的なテーマを題材に小論文を書く。	○	○		ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
3学期	1	・課題文の的確な読み取りができる。	・課題文を読み取る。	○		○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
	2	・テーマを踏まえ、自分の立場や論拠を示して、文章を書くことができる。 ・自分の反対の立場も考慮し、説得力のある文章を書くことができる。	・課題文のあるテーマを題材に小論文を書く。	○	○		ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
	3	・テーマを踏まえ、自分の立場や論拠を示して、文章を書くことができる。 ・自分の反対の立場も考慮し、説得力のある文章を書くことができる。 ・様々な問題について。それぞれに対応した適切な文章で自分の意見を書くことができる。	・様々なテーマで小論文を書く。	○	○		ワークシートの記述 振り返りシートの記入									

高等学校 令和７年度（二学年用）　教科　国語　科目 現代文演習A

教　科：　国語　現代文演習A　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　柿崎

使用教科書：　（　）

使用教材：　（ 改訂版　現代語練習帳ことのは（いいずな書店）　）

科目の目標

【知　識　及　び　技　能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	言葉の意味を知り、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①確認テスト ②小テスト ③暗唱テスト	①確認テスト ②提出物の内容 ③書く・話す活動	①学習に取り組む状況 ②振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）							配当時間	評価
								組	組	組	組	組	組	組		
1学期	4・5	・社会人として必要な基礎的な語句を学ぶ。	・生活や社会、物事のありさまに関わる重要な語句を学ぶ。	○	○	○	ワークシートの記述 提出物 小テスト									
	5・6	・社会人として必要な重要な語句を学ぶ。	・心の働き、素振り・態度に関わる重要な語句を学ぶ。	○	○	○	ワークシートの記述 提出物 小テスト									
	7	・社会人として必要な表現する能力を学ぶ。	・１学期で学んだ語句を使い文章を書く。 ・１学期で学んだ語句を使い意見を発表する。	○	○	○	ワークシートの記述 提出物 小テスト									
2学期	9	・社会人として必要な表現力を身に付ける。	・敬意を示す表現を学ぶ。 ・敬語を用いた文章を書く。	○	○	○	ワークシートの記述 提出物 小テスト									
	10・11	・社会人として必要な重要な語句を学ぶ。	・行為や行動に関わる重要な語句を学ぶ。 ・感覚、価値、判断を示すために必要な表現を学ぶ。	○	○	○	ワークシートの記述 提出物 小テスト									
	12	・社会人として必要な表現を学ぶ。	・慣用句、四字熟語を学び、日本語の表現力を高める。 ・心理、心情、概念を示すための表現を学ぶ。	○	○	○	ワークシートの記述 提出物 小テスト									
3学期	1・2	・社会人として必要な表現力を身に付ける。	・これまでに学んだ語句の内容を理解し、文章を読み取る。 ・指定された語句を用いて、自分の意見を記述する。	○	○	○	ワークシートの記述 提出物 小テスト									
	3	・日本語の多彩な表現を知る。	・和語、漢語、古語を学び、現代語とは異なる多彩な表現を身に付ける。	○	○	○	ワークシートの記述 提出物 小テスト									

高等学校 令和7年度（三学年用）　　教科　国語　　科目 国語表現

教　科：　国語　　科　目：　国語表現　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　上島　伊藤正　龍門

使用教科書：　（ 東京書籍「国語表現」　）

使用教材：　（ 第一学習社「カラー版　新国語便覧」／　浜島書店「常用漢字の1・2トライ」　）

科目の目標

【 知 識 及 び 技 能 】　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けられている。	目的や場に応じて、実社会の問題や自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①確認テスト ②漢字テスト	①確認テスト ②提出物の内容 ③発表	①学習に取り組む状況 ②振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）							配当時間	評価
								組	組	組	組	組	組	組		
通年		・高い頻度で使用される常用漢字を読み、書くことができる。	漢字テスト（日本漢字能力検定準２級レベル。副教材に沿うこと。）	○			問題集の記述 小テスト									
1学期	4・5	・自己ＰＲが書ける。	p. 66~81 ・自己ＰＲを４００字で書く。 ・志望動機、自己ＰＲをしてみる。		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入 発表									
	5・6	・進路実現に向け、論理的な文章が書ける。	p. 82~111 ・自己分析し、面接で説明できる内容を考える。 ・面接の際に必要なコミュニケーションの方法を身に付ける。		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入 発表									
	7	・表現について学ぶ。	p４~15 ・自分が好きなもの文章を紹介する。 ・評論文を読み、短い文章にまとめる。		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入 発表									
2学期	9・10	・表現を楽しむ。	p. 168~187 ・レトリックを学ぶ。　・俳句を詠む。 ・村上春樹の小説を読む。		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入 発表									
	11	・心をつかむ表現を学ぶ。	p. 188~193 ・さまざま文章を読み、表現の幅を学ぶ。		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入 発表									
	12	・表現と読書活動を学ぶ。	p128~139 ・広告・ＰＲの表現を知る。 ・読書もまた一つの「経験」を読む。 ・年賀状を書く。		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入 発表									
3学期	1	・自分を的確に他者にアピールする力を身に付ける。	・ライフチャートを作成し、自己を客観視する。 ・高校生活でお世話になった相手にお礼状を書く。 ・高校で学んだ漢字を総復習する。	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									

高等学校 令和７年度（3学年用）　　教科　国語　　科目　現代の国語演習

教　科：　国語　　科　目：　現代の国語演習　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　東條　龍門　上島

使用教科書：　（ なし　）

使用教材：　（　尚文出版「パーフェクトノート」/東京書籍「高校国語入門」/第一学習社「カラー版　新国語便覧」/浜島書店「常用漢字の1・2トライ」　）

科目の目標

【知識及び技能】　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①確認テスト ②小テスト	①確認テスト ②提出物の内容	①学習に取り組む状況 ②振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）							配当時間	評価
								1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組		
通年		・論理的な文章を書けるようになる。	・接続詞を適切に使い、文章を書けるようになる。 ・文章で物事を説明できるようになる。	○	○	○	小テスト									
1学期	4・5	・基本的な読み・書きを理解する。 ・確認しておきたい漢字を理解する。	・尚文出版「パーフェクトノート」）に取り組み、内容を理解する。 ・文章中に接続詞が果たす役割を理解する。	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
	6・7	・国語の知識を身につける。 ・ことばと表現を学ぶ。 ・ＳＰＩ対策をする。	・新聞を読み、その内容を理解する。 ・古文を読み比べ、その違いを理解する。 ・新聞を読む方法を学ぶ。 ・ＳＰＩの内容を理解する。	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
2学期	9・10	・小説、随想、評論を読む。 ・有名作品の冒頭を理解する。	・著名な作者と文学作品の内容を理解する。 ・文章中に接続詞が果たす役割を理解する。	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
	11・12	・漢字のまとめを理解する。 ・語句の意味を理解する。 ・言葉のきまりを理解する。	・東京書籍「高校　国語入門」に取り組み、内容を理解する。 ・漢字、語句、敬語の基礎を身につける。	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
3学期	1	・小説、随筆、評論、韻文を理解する。	・さまざまな文章を読み、その内容に対する自分の考えを説明する。説得力のある意見を書く。	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									

高等学校 令和７年度（三学年用）　　教科　国語　　科目 小論文B

教　科：　国語　　科　目：　小論文B　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　龍門

使用教科書：　（ 自主作成教材　）

使用教材：　（〈改訂版〉楽しく書ける作文・小論文　基本編「六〇〇字で書こう」（桐原書店）　）

科目の目標

【 知　識　及　び　技　能 】「原稿用紙の使い方」や「書き言葉」などの基本を身に付け、文章を書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】自分の立場や論拠を明確に示して小論文を書くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】さまざまな文章を読み意見を的確にとらえ、自分の考えを深めることができる。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
「原稿用紙の使い方」や「書き言葉」などの基本を身に付け、文章を書くことができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の立場や論拠を明確に示して小論文を書くことができる。	現代社会を取り巻く諸問題に関する文章を読み、筆者の意見を的確にとらえ、自分の考えを深めたり、視野を広げようとしている。また自分の考えを持ち、それを文章にして伝えようとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①小論文 ②提出物の内容	①小論文 ②提出物の内容 ③書く・話す活動	学習に取り組む状況・振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）							配当時間	評価
								組	組	組	組	組	組	組		
1学期	4	・原稿用紙の使い方を理解する。 ・書き言葉と話し言葉の違いを区別し、文章を書く際に活用できるようになる。	・原稿用紙の使い方を身に付ける。 ・書き言葉を身に付ける。	○			ワークシートの記述 小テスト									
	5	・段落構成に注意しながら、文章を書くことができる。 ・結論、理由、具体例、意見を書き分けられるようにする。	・感想文など平易な文章を書く。	○	○		ワークシートの記述 提出物									
	6	・小論文の型を踏まえて、文章を書くことができる。 ・頭括型による文章作成の基本的能力を身に付ける。	・頭括型の文章を書く		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
	7	・自分の立場や論拠を明確に示して、文章を書くことができる。 ・自分と反対の立場にも考慮し、説得力のある文章を書くことができる。	・生徒にとって身近なテーマを題材に小論文を書く。		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
2学期	9	・自分の立場や論拠を明確に示して、文章を書くことができる。 ・自分と反対の立場にも考慮し、説得力のある文章を書くことができる。	・生徒にとって身近なテーマを題材に小論文を書く。		○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
	10	・新聞、雑誌、インターネットから、立場の異なる意見を比較して読み取ることができる。 ・テーマについて討論（ディベート）を行うことが出来る。	・新聞、雑誌、インターネットから情報を収集する方法を学ぶ。	○	○		ワークシートの記述									
	11	・自分の立場や論拠を明確に示して、文章を書くことができる。 ・自分と反対の立場にも考慮し、説得力のある文章を書くことができる。 ・テーマについて討論（ディベート）を行うことが出来る。	・社会的なテーマを題材に小論文を書く。	○	○		ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
	12	・社会的なテーマに興味、関心を抱き、論点を理解して自分の意見を文章で書くことができる。 ・テーマについて討論（ディベート）を行うことが出来る。	・社会的なテーマを題材に小論文を書く。	○	○		ワークシートの記述 振り返りシートの記入									
3学期	1	・課題文の的確な読み取りができる。	・課題文を読み取る。	○		○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入									

高等学校 令和7年度（三学年用）　教科　国語　科目 現代文演習B

教　科：　国語　現代文演習B　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　柿崎

使用教科書：　（　）

使用教材：　（ 新版三訂ニューエイジ現代文　基礎１『第一学習社』　）

科目の目標

【 知 識 及 び 技 能 】 国語の知識を理解するとともに、文学的に解釈したり、表現・討論したりする技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 内容から考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、様々な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 国語のよさを認識し積極的に国語を活用しようとする態度、粘り強く考え他者の考えも参考に判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
・現代文を理解するうえで必須となる知識を習得する。 ・現代文の問題に数多く触れ、解法を理解する。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の立場や論拠を明確に示して小論文を書くことができる。	現代社会を取り巻く諸問題に関する文章を読み、筆者の意見を的確にとらえ、自分の考えを深めたり、視野を広げようとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①確認テスト ②小テスト	①確認テスト ②提出物	①学習に取り組む状況 ②振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）								配当時間	評価
								組	組	組	組	組	組	組			
1学期	4	作中の人物の心情を表す行動、事物に着目し、その心情について根拠をもって推察することができる。	○新版三訂ニューエイジ現代文　基礎１ ・小説	○	○	○	ワークシートの記述 小テスト										
	5	・評論においては、文章構成に着目し、筆者の主張を的確にとらえることができる。 ・言葉の言い換えを的確にとらえ、論理を見失わずに追うことができる。	○新版三訂ニューエイジ現代文　基礎１ ・評論	○	○	○	ワークシートの記述 提出物										
	6	・随筆においては、前後の文章・語句のつながりを意識して読解し、作者の思考の流れを捉えることができる。	○新版三訂ニューエイジ現代文　基礎１ ・随筆	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入										
	7	現代文を読む上で重要な語彙の理解を深める。	○新版三訂ニューエイジ現代文　基礎１ ・語句習得	○		○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入										
	9	・小説においては、作中の人物の心情を表す行動や事物に着目し、その心情について根拠をもって推察することができる。	○新版三訂ニューエイジ現代文　基礎１ ・小説	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入										
2学期	10	・評論においては、文章構成に着目し、筆者の主張を的確にとらえることができる。 ・言葉の言い換えを的確にとらえ、論理をみうしなわずに追うことができる。	○新版三訂ニューエイジ現代文　基礎１ ・評論	○	○	○	ワークシートの記述										
	11	・随筆においては、前後の文章・語句のつながりを意識して読解し、作者の思考の流れを捉えることができる。	○新版三訂ニューエイジ現代文　基礎１ ・随筆	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入										
	12	・現代文を読む上で重要な語彙の理解を深める。	○新版三訂ニューエイジ現代文　基礎１ ・語句習得	○		○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入										
3学期	1	・小説においては、作中の人物の心情を表す行動、事物に着目し、その心情について根拠をもって推察することができる。	○新版三訂ニューエイジ現代文　基礎１ ・小説	○	○	○	ワークシートの記述 振り返りシートの記入										

高等学校 令和7年度（三学年用）　　教科　国語　　科目 教養国語

教　科：　国語　　科　目：　教養国語　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　小宮山

使用教科書：　（　　）

使用教材：　（「国語必携ライトパーフェクト演習　三訂版」尚文出版　　）

科目の目標

【 知 識 及 び 技 能 】 漢字・語彙など、国語の基礎となる能力を補い、高める。

【思考力、判断力、表現力等】 課題に応じて、自分の考えを的確な言葉で表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】 国語常識や文学的教養を身に付けさせる。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
漢字・語彙など、国語の基礎となる能力をつけている。	課題に応じて、自分の考えを的確な言葉で表現する力がある。	国語常識や文学的教養を身に付けている。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①小テスト ②提出物の内容	①小テスト ②提出物の内容 ③表現活動	学習に取り組む状況・振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）							配当時間	評価
								組	組	組	組	組	組	組		
1学期	4	漢字・慣用表現・表現・現代用語・カタカナ語を身に付ける。	漢字・慣用表現・表現・現代用語・カタカナ語を学ぶ。	○		○	テキストの記述 小テスト									
	5	漢字・慣用表現・国語常識・表現を身に付ける。	漢字・慣用表現・国語常識・表現を学ぶ。	○		○	テキストの記述 提出物									
	6	漢字・慣用表現・現代用語・カタカナ語を身に付ける。	漢字・慣用表現・現代用語・カタカナ語を学ぶ。	○		○	テキストの記述 振り返りシートの記入									
	7	漢字・慣用表現・国語常識を身に付ける。	漢字・慣用表現・国語常識を学ぶ。	○		○	テキストの記述 振り返りシートの記入									
2学期	9	随想・評論を読むことが出来る。	随想・評論を読解する。		○	○	テキストの記述 振り返りシートの記入									
	10	新聞記事・小説を読むことが出来る。	新聞記事・小説を読解する。		○	○	テキストの記述									
	11	評論・小説を読むことが出来る。	評論・小説を読解する。		○	○	テキストの記述 振り返りシートの記入									
	12	ＳＰＩの試験対策、公務員試験の対策ができる。	ＳＰＩの試験、公務員試験の問題に取り組む。	○	○	○	テキストの記述 振り返りシートの記入									
3学期	1	原稿用紙、作文、手紙、履歴書が書ける。	原稿用紙、作文、手紙、履歴書を書く。	○	○	○	テキストの記述 振り返りシートの記入									

高等学校 令和７年度（３学年用）　教科　国語　科目　実用国語（自由選択）

教　科：　国語　科　目：　実用国語（自由選択）　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年

教科担当者：　東條

使用教科書：　（ なし　）

使用教材：　（ 二訂版　書いて覚える漢字練習ノート（啓隆社）　）

科目の目標

【 知　識　及　び　技　能 】　日本漢字能力検定４級以上の合格、または同等の能力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】　日本漢字能力検定４級(中学在学程度、１３２２字)、３級(中学卒業程度、１６０７字)を理解し、文章の中で適切に使えるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】　漢字に対する苦手意識をなくし、進んで学ぶ姿勢を身につける。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
①４級までの漢字１３２２字を使いこなして文を作成している。 ②分野別の学習を通じて、漢字への理解を深めている。	①文章の中で使用するべき４級以上の漢字を適切に判断し、使いこなしている。 ②漢字による表現を楽しんでいる。	①自分の課題を認識し、目標をもって学習をしている。 ②自分の力を伸ばし、漢字検定４級以上合格に向けて努力している。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①実力試験（プレテスト）の成績 ②提出物の内容	①実力試験（プレテスト）の成績 ②提出物の内容	①学習に取り組む状況 ②振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）							配当時間	評価
								組	組	組	組	組	組	組		
1学期	4・5	○日本漢字能力検定の概要・狙いを理解できる。 ○現在の実力を知り、目標をもつことができる。 ○同音・同訓異字を正しく理解し、判断することができる。	ガイダンス ４級①～⑥回 同音・同訓異字	○	○	○	観察 実力試験（プレテスト） 提出物の内容 振り返りシートの記述									
	6・7	○４級までの１３２２字を理解することができる。 ○部首・熟語の構成を正しく理解している。	４級⑦～⑭ 部首 熟語の構成 実力試験（プレテスト）	○	○	○	観察 実力試験（プレテスト） 提出物の内容 振り返りシートの記述									
2学期	9・10	○目標を高くもって学習に励むことができる。 ○対義語・類義語を正しく理解できる。	３級①～⑥ 対義語・類義語 実力試験（プレテスト）	○	○	○	観察 実力試験（プレテスト） 提出物の内容 振り返りシートの記述									
	11・12	○目標を高くもって学習に励むことができる。 ○四字熟語の意味を正しく理解できる。	３級⑦～⑭ 四字熟語 実力試験（プレテスト）	○	○	○	観察 実力試験（プレテスト） 提出物の内容 振り返りシートの記述									
3学期	1	○漢字検定へ向けて弱点を克服することができる。 ○ＳＰＩ言語分野の問題に取り組み、理解することができる。	漢字検定前分野別問題まとめ 実力試験（プレテスト） ＳＰＩ（言語分野）	○	○	○	観察 実力試験（プレテスト） 提出物の内容 振り返りシートの記述									